

# コラム 慢性腎臓病とは

新たな国民病、CKD

慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease：CKD）とは、腎臓の障害が慢性的に続いている状態のことをいいます。現在、患者さんは国内に1,330万人（成人の8人に1人）いるとされ（\*）、新たな国民病といわれています。

<出典> \* 日本腎臓学会 CKD診療ガイド2012

## CKDの診断

CKDは、蛋白尿や血尿などが出ている、画像診断などで腎障害が見られる、腎機能が低下している、といった状態が3か月以上続いたときに診断されます。

以下の状態のいずれか、または両方が3か月以上続くとCKD

- ①腎障害がある
  - ・蛋白尿や血尿がある
  - ・画像診断で障害がみられる など

- ②腎機能が低下している
  - GFRが60mL/分/1.73m<sup>2</sup>未満

CKD診療ガイド2012, 日本腎臓学会

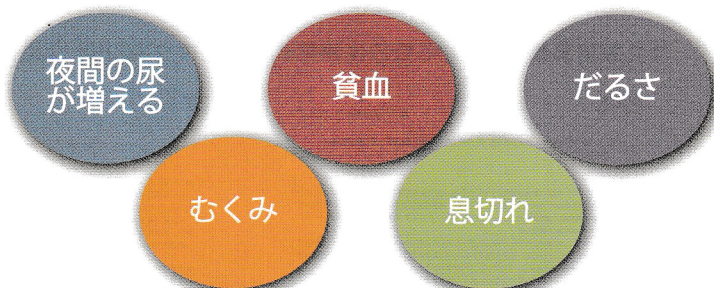
このうち腎機能の低下は、簡易的には、血液中の老廃物の一種であるクレアチニン（Cr）の値と、年齢、性別から算出した、推算GFR（eGFR）の値で判断します。

腎機能が低下すると、eGFRの数値も下がります。健康な人のeGFRは100mL/分/1.73m<sup>2</sup>前後で、60mL/分/1.73m<sup>2</sup>未満の状態が3か月以上続くと、CKDと診断されます。15mL/分/1.73m<sup>2</sup>未満は末期腎不全の状態です。透析治療や腎移植を検討しなければいけません。

## eGFRと腎機能の程度



CKDが進行するとあらわれる症状

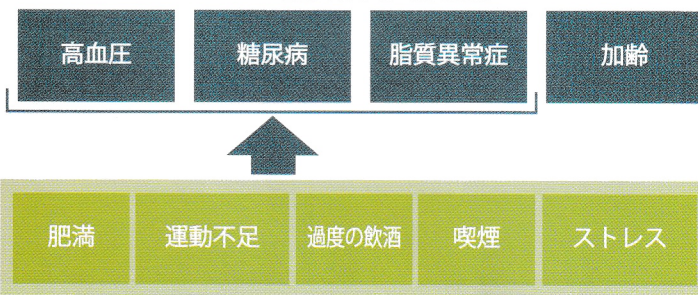


※初期段階は自覚症状がほとんどない

こうした症状が自覚されるときには、すでにCKDが相当進行していると考えられます。

糸球体腎炎や多発性嚢胞腎などの腎臓病は重要なCKDの原因です。一方、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病にかかっていると、CKDを発症する可能性が高いといわれています。そのため、生活習慣病の原因となる肥満や運動不足、過度の飲酒、喫煙、ストレスにも注意が必要です。また、腎臓は年齢とともに機能が低下します。そのため、高齢者ではCKDになる確率が増えます。

CKDの原因となる生活習慣病



## 毎日飲んでも安心。 発売以来20年以上変わらぬ品質 たんぽぽ茶ショウキT-1



こだわりは  
土作りから

中国河北省の契約農家で管理し、有機肥料を毎年土に還元。

農薬  
不使用

除草剤を一切使わず、草取りも手作業で行い農薬不使用を実現。

添加物不使用の  
安全製法

レトルトパウチによる無着色・無香料での開発に成功。

良質な葉と茎・花  
のみを使用

一般的なたんぽぽ茶とは違い、根は一切使用せず、葉と茎・花から「T-1」成分を抽出。

たんぽぽ茶  
「ショウキT-1」  
ノンカフェイン

